

平成26年9月29日

ブルネイ・ダルサラーム国で野外実習を実施しました

本学理学部生物科学科で開講している専門教育科目「宮島生態学実習」（担当：坪田博美准教授、理学研究科附属宮島自然植物実験所）で、野外実習を2014年9月3日から8日の日程でブルネイ・ダルサラーム国（通称ブルネイ）において行いました。

この「宮島生態学実習」における海外での実習は、現在広島大学が進めているグローバル人材の育成に対応して行ったもので、過去にマレーシアでも行った実績があります。今回、ブルネイ大学理学部との間で2012年7月に締結した部局間国際交流協定にもとづき、今年度はブルネイで開催されたものです。

わが国は、ブルネイとは石油や天然ガスなどの天然資源の輸入や自動車の輸出など、経済的な面で大きなつながりを持ちます。本実習では、自然破壊の進む東南アジアの中では希有なまでによく自然を残しているブルネイの熱帯雨林やマングローブ林において、実際に現地で体験・観察を行い、自然林の重要性やその保全・保護、生物多様性の理解を深めることを目的として実施しました。

今回、ブルネイ大学理学部の配慮で、特別にブルネイ大学の学部教育の現場視察や施設見学の機会も得ることができ、また英語による野外教育を受けるとともに、環境問題に関する討論や実習内容に関する発表を英語で行いました。

受講学生は、非常に貴重な体験をする機会を得るとともに、海外との交流の重要性の理解を深め、人的交流や英語の必要性など多面にわたり非常に良い刺激を受けた様子でした。今後も同様の実習を継続して行う予定です。

【お問い合わせ先】

理学研究科附属宮島自然植物実験所 坪田 博美
TEL:0829-44-2025 FAX:0829-40-2001